

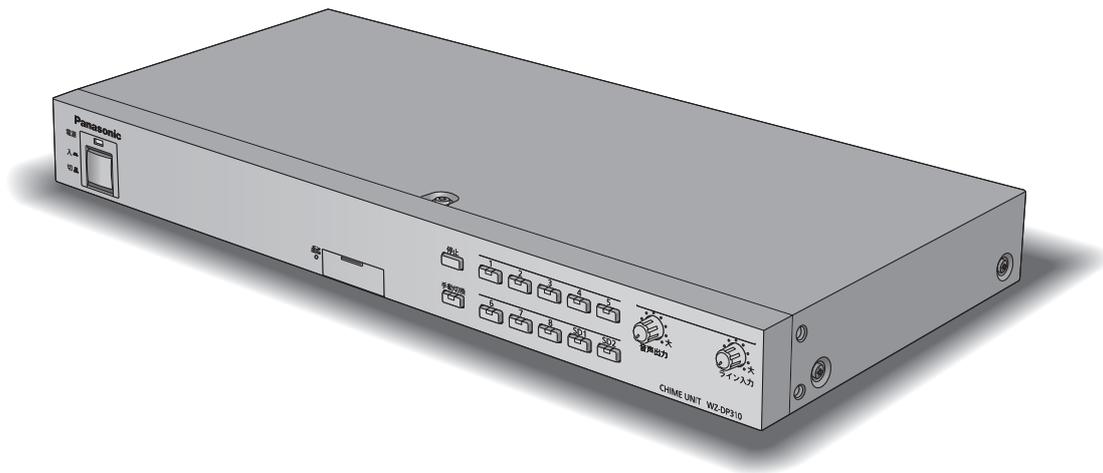
Panasonic[®]

取扱説明書

工事説明付き

チャイムユニット

品番： WZ-DP310



保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(5～7ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

略称について

このドキュメントでは、以下の略称を使用しています。

- SDHCメモリーカード、SDメモリーカードをSDカードと表記しています。

著作権について

本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、は禁じられています。また、本製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

著作権のある音楽の利用手続きについて

- 店舗などでCDやテープなどの録音物から著作権のある音楽を「BGM（店内放送）」として利用する場合は、社団法人日本音楽著作権協会（JASRAC）とご契約いただき、使用料のお支払いが必要となります。
- JASRACと契約している音源提供事業者から供給を受ける音楽については、個別にご契約いただく必要はありません。詳しい内容については、音源提供事業者におたずねください。

用語について

内蔵音源

本機に内蔵されている8つの音源を指します。8つの音源は、外部制御入力の1～8にそれぞれ対応しており、外部制御入力にメイク信号を入力すると該当する音源が再生されます。

SDカード再生

SDカード（別売品）に収録した音源データを再生する機能です。2つの音源データを再生することができます。

音源再生

本機の内蔵音源、SDカードに収録された音源を再生することを指します。

手動切替

音源の再生は、手動操作、外部起動により行えますが、どちらか一方での再生となります。手動切替ボタンにより、手動操作、外部起動を切り換えます。

また、電源投入直後は電源を切る前の状態に関係なく、外部起動となります。

再生モード

再生モードは2種類あります。

- ・ アナウンスモード：外部制御入力にパルス信号を入力することにより、1回のみ音源が再生されます。繰り返し音源を再生するときは、再生終了後に再度信号を入力する必要があります。
- ・ BGMモード：外部制御入力にメイク信号を入力することにより、メイク信号入力中は、繰り返して音源を再生します。詳しくは「再生モード」（15ページ）をお読みください。

再生遅延時間

アンプの電源投入時の起動に時間がかかる場合、音源の再生音が頭切れすることを防ぐために音源再生を遅らせる機能です。再生モードにより設定できる遅延時間が異なります。

記号について

本書では、以下の記号を用いて説明しています。



重要：該当する機能を使用するにあたり、制限事項や注意事項が書かれています。



：使用上のヒントが書かれています。

もくじ

はじめに

設置・設定

操作

その他

はじめに

はじめに	2
商品概要	2
主な特長	2
付属品をご確認ください	2
免責について	2
商標および登録商標について	2
略称について	3
著作権について	3
用語について	3
記号について	3

もくじ	4
-----	---

安全上のご注意	5
---------	---

使用上のお願い	8
---------	---

各部の名前とはたらき	9
前面パネル	9
後面パネル	10

設置・設定

設置のしかた	11
設置上のお願い	11
ラックマウントアングルの取り付け	12
ラックへの取り付けかた	12
電源コードの取り付けかた	13
ゴム足の取り付けかた	13

設定のしかた	14
ディップスイッチの設定	14
再生モード	15
再生遅延時間設定	16
ライン入力ミュートレベル設定	16

接続について	17
本機との接続のしかた	17
ユーロブロックコネクタの接続	18
外部DC電源との接続	19
動作中出力の接続	20
ライン入力について	21
接続ケーブルの束線のしかた	21

システム接続例	22
本機の動作出力を使用する場合	22
プログラムコントローラーなどにより 放送先を変更する場合	22

操作

操作のしかた	23
手動操作による再生	23
外部起動による再生	24
音量調節	25

SDカードの音源データ	26
SDカード再生について	26
SDカードの初期化	26
音源データのファイル形式	26

その他

外形寸法図	27
ブロックダイヤグラム	28
故障かな!?	29
仕様	30
保証とアフターサービス	31

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



■ 配線は正しく行う

(ショートや誤配線により、火災や感電の原因となります。)

■ 付属の取付金具を使用する

(落下によるけがや事故の原因となります。)

→ 設置の際は、付属取付金具を使用してください。

■ ねじやボルトは指定されたトルクで締め付ける

(落下によるけがや事故の原因となります。)

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む

(差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。)

→ 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ 電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く

(コードが傷つき、火災や感電の原因となります。)

■ 決められたヒューズを使う

(火災の原因となります。)

■ 持ち運ぶときはコード類をすべて抜く

(コードに足をかけたりして、けがの原因となります。また、コードが傷つき火災や感電の原因となります。)

■ お手入れのときは電源を切る

(感電の原因となります。)

■ 電源プラグのほこりなどは定期的にとる

(プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。)

→ 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■ 異常があるときは、すぐ使用をやめる

(煙が出る、においがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。)

→ 直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

■ 取り付けは、必ず本機の電源を切ってから行う

(感電の原因となります。)

警告



禁止

- **不安定な場所に置かない**
(落下や転倒によるけがや事故の原因となります。)
- **異物を入れない**
(水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。)
→ 直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。
- **電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない**(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる など)
(傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。)
→ コードやプラグの修理は販売店に相談してください。
- **雷のときは工事、配線をしない**
(火災や感電の原因となります。)
- **SDHC／SDメモリーカード(別売り)は、乳幼児の手の届く所に置かない**
(誤って飲み込むおそれがあります。)
→ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



接触禁止

- **雷が鳴り出したら、本機や電源コード、接続したケーブルに触れない**(工事時を含む)
(感電の原因となります。)



ぬれ手禁止

- **ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない**
(感電の原因となります。)



分解禁止

- **分解しない、改造しない**
(火災や感電の原因となります。)
→ 修理や点検は、販売店に依頼してください。



水ぬれ禁止

- **水をかけたり、ぬらしたりしない**
(火災や感電の原因となります。)
→ 直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。
- **機器の上や周囲に水などの入った容器を置かない**
(水などが中に入った場合、火災や感電の原因となります。)
→ 直ちに電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。

注意



■ 工事は販売店に依頼する

(工事には技術と経験が必要です。けが、器物破損の原因となります。)

→ 必ず販売店に依頼してください。

■ コネクターの抜き差しは電源を切ってから行う

(クリック音でスピーカーが破壊する恐れがあります。)



禁止

■ 電源を入れたまま工事、配線をしない

(けがの原因となります。)

■ 幼児の手の届く場所に設置しない

(けがの原因となります。)

■ ケーブルなどは引っ張らない

(けがの原因となります。)

■ ケーブルなどを傷つけない

(重いものを載せたり、はさんだりすると、ケーブルが傷つき、けがの原因となります。)

■ 湿気やほこりの多い場所に設置しない

(けがの原因となります。)

■ 振動や強い衝撃を与えない

(けがの原因となります。)

使用上のお願い

 **警告**  **注意** に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

使用温度範囲は

0℃～+45℃です。この温度範囲以外で使用すると、故障または誤動作の原因となります。

付属の電源コードは本機専用です。

他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

電源スイッチについて

電源スイッチを「切」にしても、電源からは遮断されません。電源を遮断する場合は、コンセントから本機の電源プラグを抜いてください。また、電源制御ユニット使用時は電源制御ユニットの電源を切ってください。

電源スイッチを入／切するときは

パワーアンプや周辺機器の電源を切ってから行ってください。クリックノイズが発生し、スピーカーや周辺機器を破損する恐れがあります。

長期間使用しない場合は

電源スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。

結露について

結露は、故障の原因になりますので注意してください。以下のようなときに結露が発生しやすくなります。

- 湿度が高いとき
 - 冷たい場所から、温度や湿度の高い場所に移動したとき
- 結露が発生した場合は、1～2時間程度放置して、結露がなくなったことを確認してから電源を入れてください。

お手入れは

- 電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。ほこりが取れにくいときは、水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみこませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で、洗剤成分を完全にふき取ってください。
- シンナーやベンジンなど、揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

SDカードについて

- 本機には、SDカードのフォーマット機能がありません。未フォーマットのSDカードを使用する場合は、SDフォーマッター*をご使用ください。フォーマットすると、記録されていた内容は消去されます。未フォーマットのSDカードや指定方法以外でフォーマットしたSDカードを使用すると、正常に動作しないことや、性能低下することがあります。

*SDフォーマッターとは、SD/SDHC/SDXC規格を使用したメモリーカードの性能が最適になるようにフォーマットするソフトウェアです。フォーマッターの入手は、SDアソシエーションのホームページまたは、販売店にお問い合わせください。

- 一部のSDカードは本機で使用すると、正常に動作しないことや、性能が低下することがあります。推奨SDカードの使用をお勧めします。

推奨SDカード

パナソニック製業務用SDカード（別売品）

SDHCカード：4 GB、8 GB、16 GB、32 GB

SDカード：2 GB

（miniSDカード、microSDカードは除く）

業務用SDカードについては、販売店にお問い合わせください。

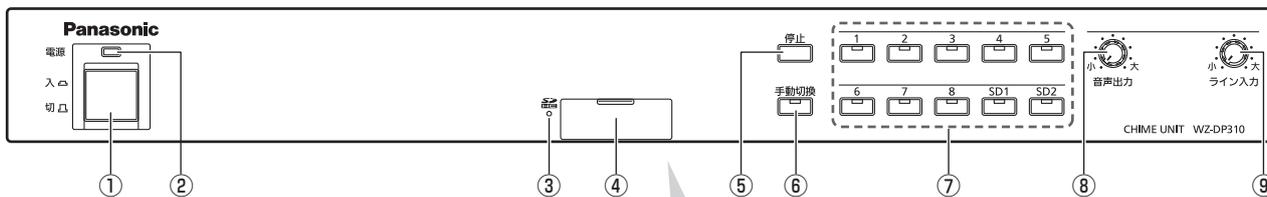
- 廃棄の際は、SDカードを物理的に分解するか、SDカード内のデータを完全に消去して、それぞれの地域ルールにしたがって、分別廃棄をお願いします。

表示について

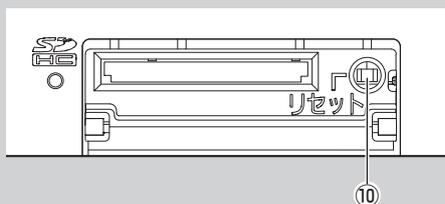
本機の識別および電源、その他の表示は機器底面をお読みください。

各部の名前とはたらき

前面パネル



(SDカードスロットカバーを外した状態)



① 電源スイッチ【電源】

- 電源を「入／切」します。
- 電源スイッチを「切」にしても、電源からは遮断されません。電源を遮断するときは、ACコンセントから本機の電源プラグを抜くか、電源制御ユニット使用時は、電源制御ユニットの電源を切ってください。
- 電源スイッチを「入」にしてから再生できるまで時間がかかります。

② 電源表示灯（緑色）

電源スイッチを「入」にすると、点灯します。

③ SDカードアクセス表示灯（緑色）【SD】

SDカードのデータを読み込んでいるときに点灯します。



- SDカードアクセス表示灯点灯中は、以下のことを行わないでください。データが破壊されることがあります。
 - SDカードを抜く
 - 電源を切る
 - リセットスイッチを押すなお、破壊されたファイルはPCでSDカードの修復を行うことにより、削除されます。

④ SDカードスロット

SDカード（別売品）を挿入します。

⑤ 停止ボタン【停止】

再生している曲を停止させます。
外部起動時も操作が可能です。

⑥ 手動切換ボタン／手動切換表示灯（緑色）【手動切換】

- 再生方法を手動操作、外部制御のいずれかに切り換えるときに使用します。
- ボタンを押すたびに、手動操作⇄外部制御と切り換わります。手動切換ボタンの表示灯が点灯しているときは、手動操作が選択されています。
- 電源投入時は、「外部制御」の状態になっています。
- 手動操作選択時に手動切換表示灯が緑点灯します。

⑦ 音源再生ボタン／再生中表示灯【1～8、SD1、SD2】

手動切換表示灯が点灯している状態で本ボタンを押すと、ボタンに対応した内蔵音源またはSDカード音源が再生されます。

再生中に該当するボタンの表示灯が緑点灯します。
再生中表示灯は外部制御からの再生中も緑点灯します。
SD1／SD2再生中表示灯は再生時、音源ファイルのファイル形式に誤りがある場合は約2秒間の赤点滅となり、音源ファイルがSDカードに格納されていない場合は、消灯のままとなります。

⑧ 音声出力つまみ【音声出力】

音声出力の音量を調節します。
右に回すと音量が上がり、左に回すと音量が下がります。
左に回しきると音声は出力されません。

⑨ ライン入力つまみ【ライン入力】

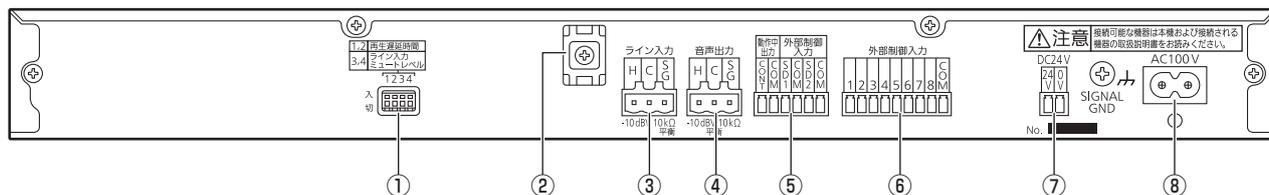
ライン入力の音量を調節します。
右に回すと音量が上がり、左に回すと音量が下がります。
左に回しきると音量は出力されません。

⑩ リセットスイッチ

本機の動作がおかしいとき、先端の細いもので押して、本機を再起動します。

各部の名前とはたらき

後面パネル



① 設定用ディップスイッチ

再生モード、ライン入力のミキシングレベルを設定します。

② ケーブルクランプ用台座

本機接続ケーブルを固定する結束バンドを固定します。
(21ページ「接続ケーブルの束線のしかた」)

③ ライン入力端子【ライン入力】

外部機器の音声入力などを接続することにより、本機の音源再生時に外部機器の音声とミキシングして音声出力に出力します。

④ 音声出力端子【音声出力】

本機の再生音または、ミキシングされた音声を出力します。

⑤ 動作中出力端子／外部制御入力端子【SD1、SD2】

- 動作中出力端子
本機の内蔵音源、SDカード音源を再生しているときにメイク信号を出力します。
- SD1、SD2
外部からのメイク信号により、SDカードの音声を再生します。

⑥ 外部制御入力端子【外部制御入力】

手動切換表示灯が消灯しているときに外部からのメイク信号により内蔵音源の音声を再生します。

⑦ DC 24V 入力端子【DC24 V】

停電時に放送を行うなど、外部電源機器からDC24 Vを供給して動作させる場合に使用します。

⑧ 電源入力端子【AC 100 V】

付属の電源コードを接続します。接続後は、電源コードクランプでコードを固定してください。
(13ページ「電源コードの取り付けかた」)

設置のしかた

設置上のお願



警告

- 工事は必ず販売店に依頼してください。
工事を行う前に、接続する機器の電源スイッチを「切」にしてください。また、「安全上のご注意」をよく読んでその指示にしたがってください。接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。

設置工事は電気設備技術基準にしたがって実施してください。

本機は屋内専用です

屋外での使用はできません。
長時間直射日光のあたるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因になります。また、水滴または水沫のかからない状態で使用してください。

以下の場所には設置しないでください

- 直射日光のあたる場所や温風吹き出し口の近く
 - 湿気やほこり、振動の多い場所
 - 温度差の激しく結露しやすい場所
 - ちゅう房など蒸気や油分の多い場所
 - スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
 - 塩害や腐食性ガスの発生する場所
 - 水滴や水沫がかかる場所
- 壁や天井などから10 cm以上離して設置してください。

使用電源は

AC100 Vです。消費電力の大きな機器（複写機、空調機器など）と同じコンセントから電源をとらないでください。

電源について

本機は電源スイッチを「切」にしただけでは電源を遮断できません。
電源コードは、必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。

- (1) 電源制御ユニットを介して接続する。
- (2) 電源コンセントの近くに設置し、電源プラグを介して接続する。
- (3) 3.0 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。ブレーカーは、保護アース導体を除くすべての極が遮断できるものを使用する。

雑音源は避ける

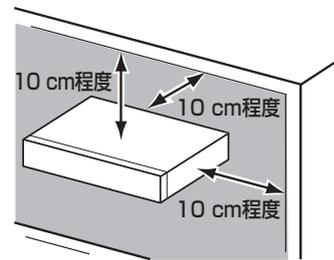
- トランシーバー、トランス、調光器、CRTモニターなどからできるだけ離してご使用ください。誘導ノイズを受ける可能性があります。
- 電灯線などの雑音源にケーブルを近づけると、ノイズが発生する場合があります。そのときは、雑音源からできるだけ離すように配線するか、本機の位置を変えてください。

ラックマウント設置を行うときは

ラックにマウントする場合は、ラック内の温度が45℃以上にならないようにしてください。内部部品に悪影響を与え故障の原因となります。

据え置き設置のときは

据え置きの場合は、壁や天井などから10 cm以上離して設置してください。



静電気について

静電気による破損を防止するために、作業をはじめる前に本機以外の金属部に手を触れ、人体に帯電している静電気を放電してください。

取付ねじはしっかりと締める

工事で使用する取付ねじは、指定の締付トルクにしたがい、しっかりと締めてください。インパクトドライバーはねじを破損させる場合がありますので、使用しないでください。

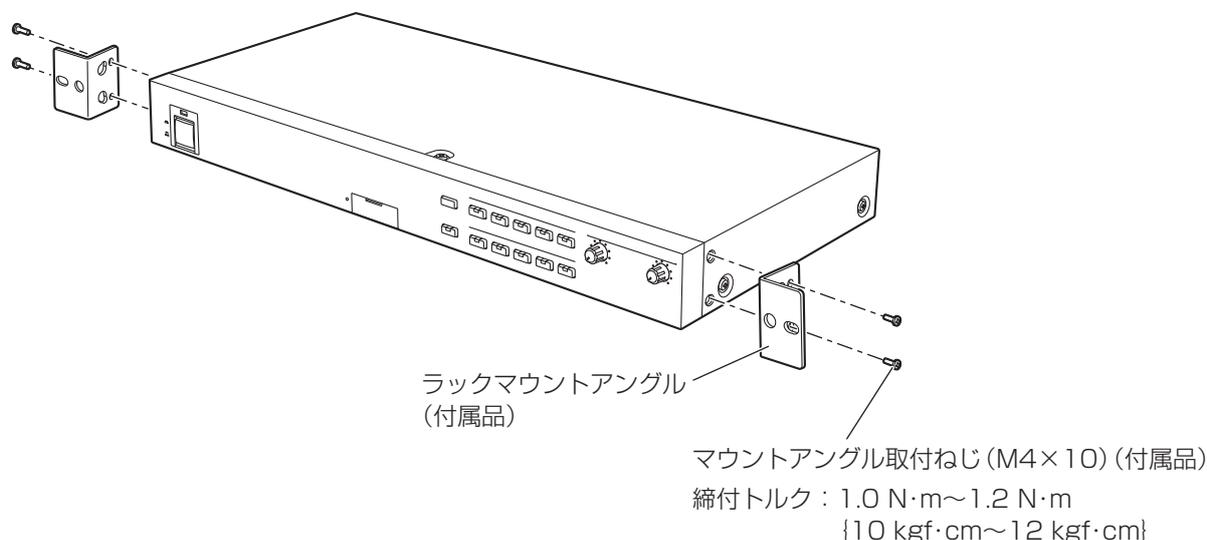
アンバランス（不平衡）接続の場合は

シャーシ電位の違いによる誘導ノイズを受けやすくなりますので、各機器間のシャーシ電位を合わせて使用してください。

- 各機器間の電源位相を合わせる
- 電源系統を統一する
- 各機器のグランド端子またはシャーシを接続する

ラックマウントアングルの取り付け

付属品のラックマウントアングルを下図のように本機に取り付けます。



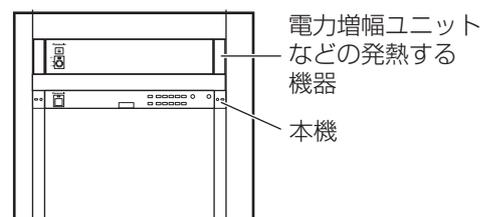
ラックへの取り付けかた

本機は、ラックに取り付けて使用できます。

本機を取り付けるラック (別売品) は、次のいずれかを使用してください。

- スタンダードラック : WU-RS80 収納ユニット数29U (当社製)
※従来品のWU-RS71もお使いいただけます。
- ロングラック : WU-RL85 収納ユニット数41U (当社製)
※従来品のWU-RL76もお使いいただけます。
- EIA規格相当品 : EIA19型、奥行450 mm以上のもの

ラック取付例



本機をラックに取り付けるときは、付属のラック取付ねじ (M5×12) 2本で、確実に固定します。

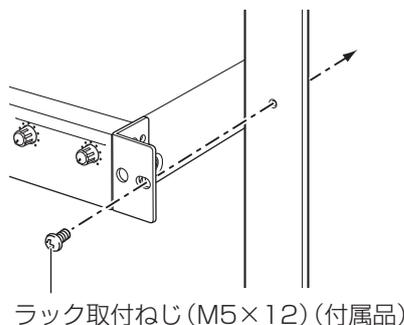
ラック取付ねじ (M5×12) の締付トルクは、2 N·m～2.4 N·m {20 kgf·cm～24 kgf·cm} です。



- 本機は電力増幅ユニットなど発熱する機器よりも下に設置し、1U分以上の間隔を開けてください。
- ラック内の温度は45℃以上にならないようにしてください。
- 振動の多い場所に設置しないでください。

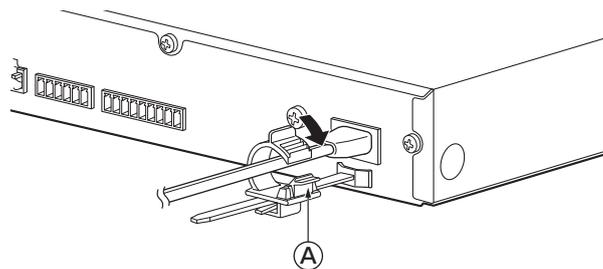


- 他社製ラックに取り付ける場合は、付属のラック取付ねじ (M5×12) 2本または取り付けを行うラック側で指定のねじを用意してください。

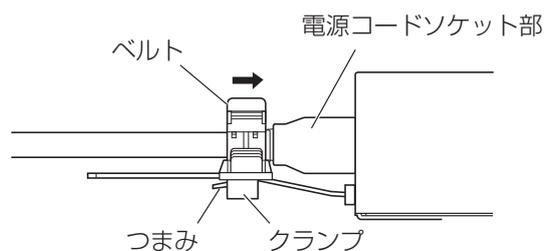


電源コードの取り付けかた

本機後面の電源入力端子 [AC 100 V] に付属の電源コードを挿し込み、電源コードクランプで束線してください。
右図のように矢印の方向に電源コードをはさみ込み、Ⓐ部で束線してください。

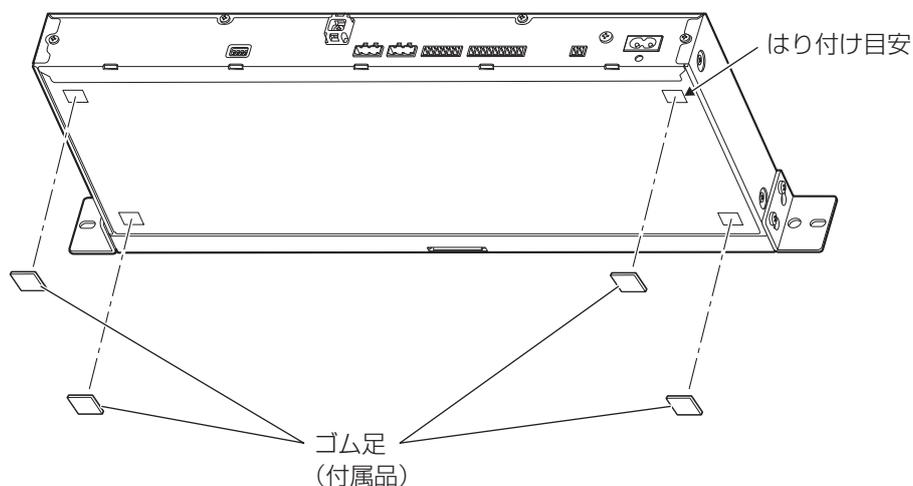


- 電源コードのクランプのしかた
 - (1) 電源コードをクランプで押さえます。電源コードクランプのベルトを最後まで締めます。
 - (2) 電源コードクランプの「クランプ」を図の矢印の方向にスライドさせて、電源コードのソケット部をしっかりと固定します。
 - (3) 電源コードクランプを外すときは、図のクランプ部のつまみを操作して外してください。



ゴム足の取り付けかた

本機を卓面に置いて使用するとき、卓面向の傷を防止するため、本機の底面にあるはり付け目安に合わせてゴム足4個（付属品）をはり付けて使用してください。

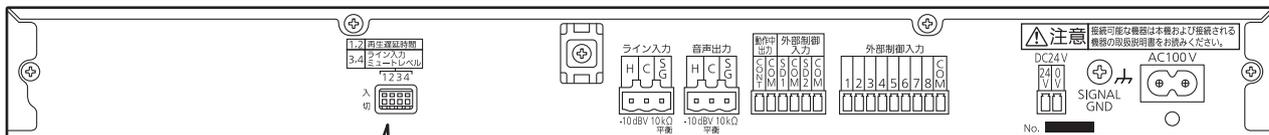


設定のしかた

ディップスイッチの設定

後面のディップスイッチにより、再生遅延時間設定、ライン入力ミュートレベル設定を行います。
本ディップスイッチの設定は、電源投入時のみ読み込みますので、設定後に電源を投入してください。

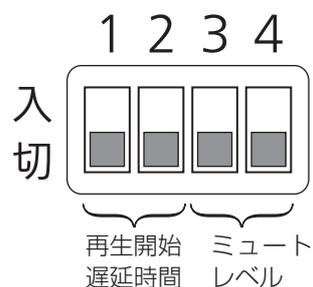
本機後面



● ディップスイッチ設定表

ディップスイッチ		再生開始遅延時間 (再生モード)
No.1	No.2	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	遅延なし (アナウンスモード) *
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	遅延1秒 (アナウンスモード)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	遅延2秒 (アナウンスモード)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	遅延3秒 (BGMモード)

ディップスイッチ		ミュートレベル (ライン入力減衰量)
No.3	No.4	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	0 dB (ライン入力減衰なし) *
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-10 dB
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-20 dB
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	-∞ (ライン入力ミュート)



※は工場出荷時の設定です。



- 電源「入」中に、設定変更しても設定内容は反映されません。ディップスイッチの設定変更後は電源スイッチを「切」「入」して再起動してください。



- 再生遅延時間設定は、再生モードにより、設定可能時間が異なります。再生モードについては、15ページをお読みください。

再生モード

電源投入時のディップスイッチ設定により、外部制御入力による音源データ再生時の動作モードを切り換えることができます。

- アナウンスモード : 外部制御入力の立ち上がりで1回のみ音源データを最後まで再生します。
- BGMモード : 外部制御入力ON (メイク) している間、音源データを繰り返し再生します。

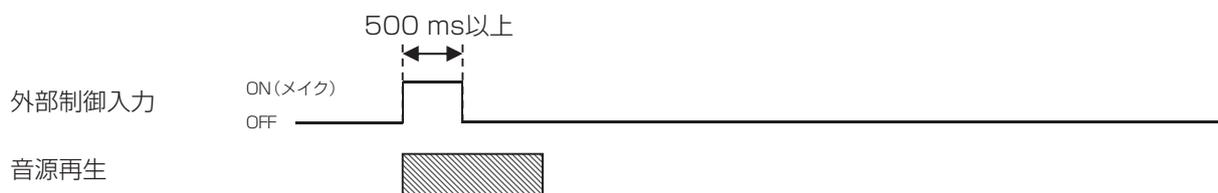
ディップスイッチの設定については14ページをお読みください。



- 再生モードは、本機で1つのみ設定できます。(音源ごとの設定はできません)

■ アナウンスモード

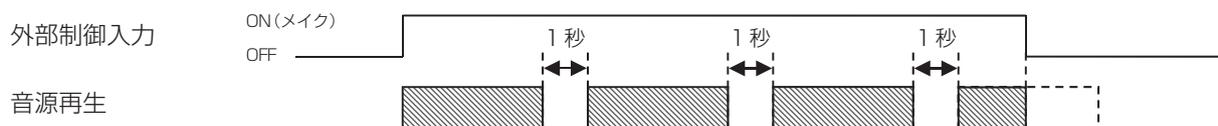
音源データの長さに関係なく、1回のみ最後まで再生します。
音源データ再生終了後、外部制御入力ON (メイク) され続けても音源データは繰り返し再生しません。



- 外部制御入力は500 ms以上ON (メイク) してください。

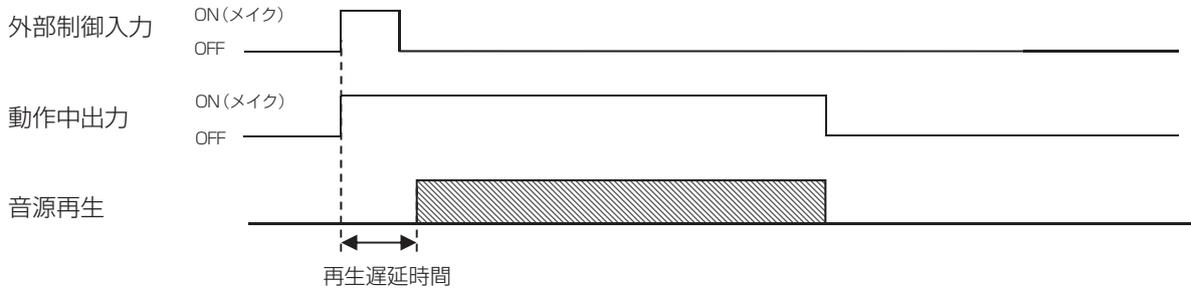
■ BGMモード

外部制御入力ON (メイク) されている間、本機の再生を繰り返します。
音源データ再生終了後、外部制御入力ON (メイク) され続けていると、1秒間の間隔を空けて繰り返し再生します。
外部制御入力をOFFすると即座に音源データの再生を停止します。



再生遅延時間設定

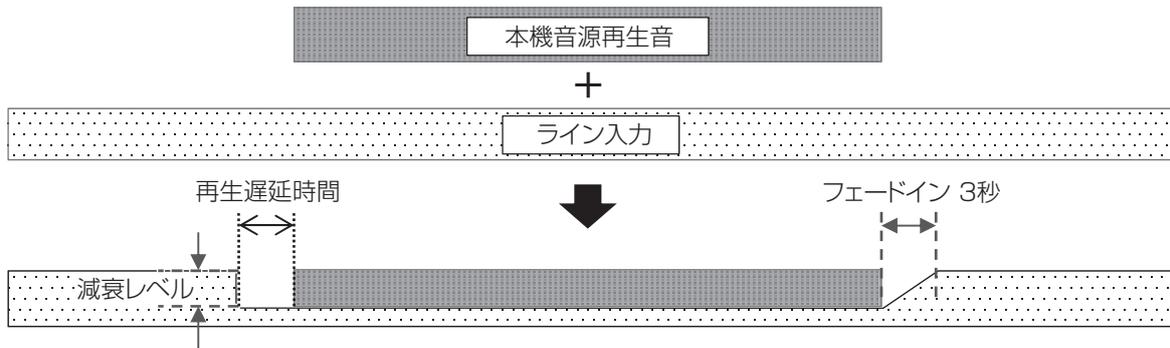
アンプ起動時間の遅延により、音源の再生音が頭切れすることを防ぐために本機の再生開始を遅延させることが可能です。再生遅延時間設定は、アナウンスモード、BGMモードとの組み合わせによる設定となります。また、再生遅延中も動作中出力端子からのメイク信号は出力します。ディップスイッチの設定については14ページをお読みください。



ライン入力ミュートレベル設定

本機音源再生中の音声はライン入力の音声とミキシングして再生することができます。ミキシング中はライン入力の音声レベルを減衰させることができます。本機音源再生終了後はライン入力の音声を約3秒かけて元の音量レベルに復帰します。電源投入時のディップスイッチ設定により、ミキシング時の音量を設定することができます。ディップスイッチの設定については14ページをお読みください。

- 0 dB (減衰なし) : ライン入力音量はそのまま本機の再生音とミキシングして出力します。
- 10 dB : ライン入力音声を-10 dB小さくして本機音源再生音とミキシングして出力します。
- 20 dB : ライン入力音声を-20 dB小さくして本機音源再生音とミキシングして出力します。
- ∞ : ライン入力音声を停止して、本機の音源再生音のみ出力します。

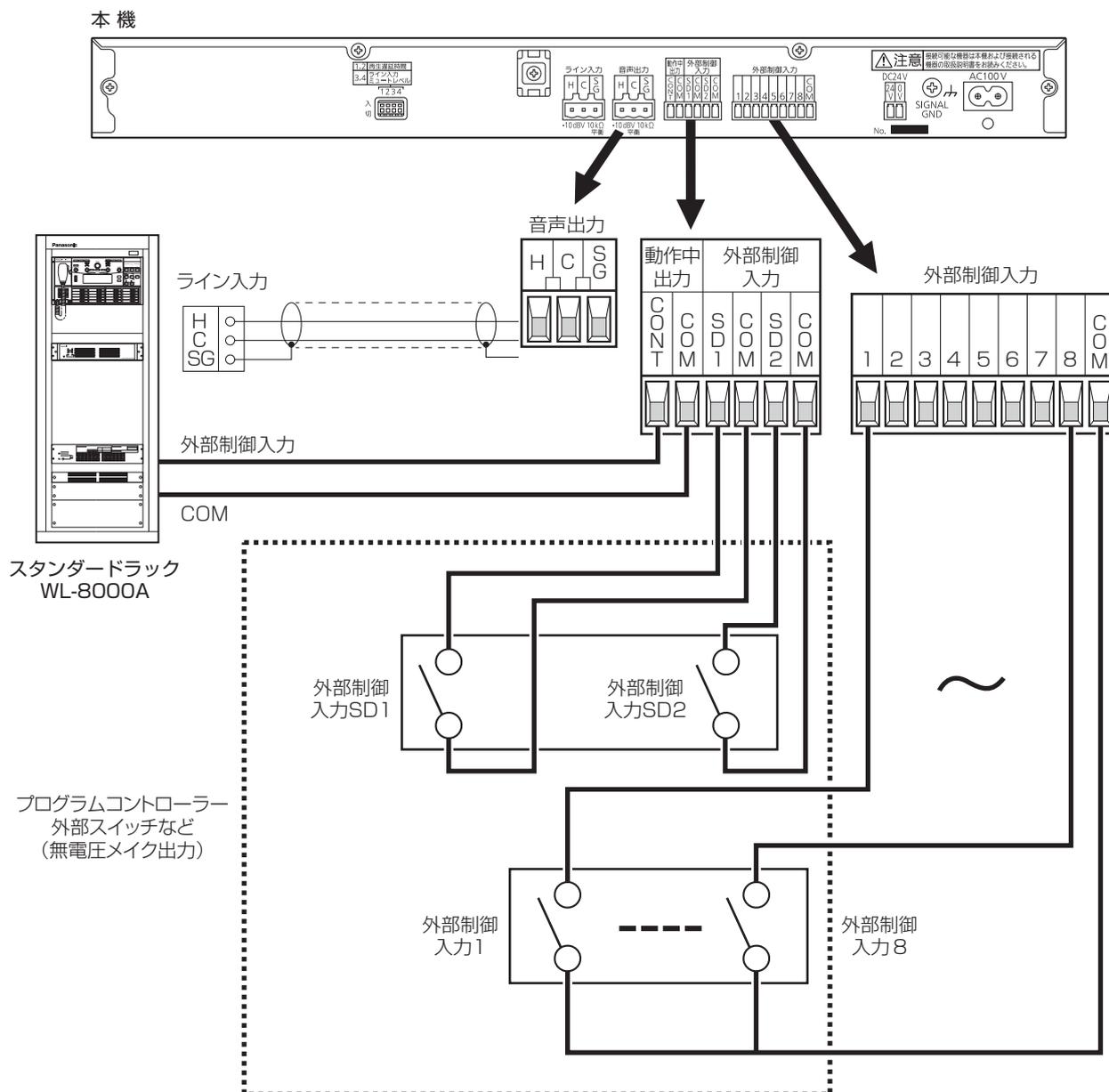


接続について

本機との接続のしかた

本機の音声出力を放送設備（アンプ）に接続して放送を行います。

あらかじめ決めた時刻に自動的に放送を行う場合は、プログラムコントローラーなどの起動信号（メイク信号）を本機の外部制御入力に接続します。



- 外部制御入力端子は無電圧メイク入力に対応し、開放電圧5 V、短絡電流2 mAです。トランジスタのオープンコレクター出力を接続する場合、COM側がシグナルグランド（SG）になるよう極性に注意してください。
- 外部制御入力は、後から入力された信号が優先され、先に再生していた音源は停止し、切り替わります。
- アンプの起動に時間がかかる場合は、音源の再生音が頭切れすることを防ぐために、再生遅延時間の設定を行います。（16ページ「再生遅延時間設定」）
- 「1～8」の「COM」端子と「SD1」、「SD2」の「COM」端子は本機の内部で接続されています。

接続について

ユーロブロックコネクターの接続

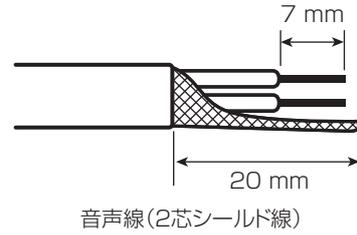
■ 音声入出力線と制御線の接続

● 音声線（ライン入力、音声出力）は、2芯シールド線で接続します。

線径は、0.2 mm² (AWG24) ~ 3.3 mm² (AWG12) のケーブルを使用してください。

※より線ははんだ仕上げ禁止。

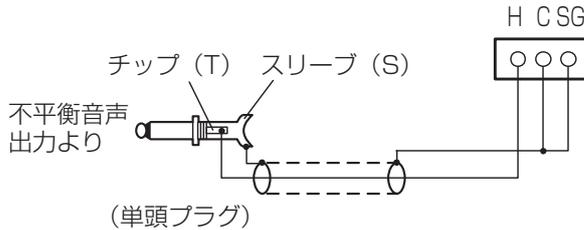
ケーブルの先端7 mmの被覆をむきます。



音声線(2芯シールド線)



● 不平衡音声出力の機器と接続するときは、図のように配線してください。



※ 単頭プラグスリーブのシールド線をSGに接続し、C (コールド) とSG (シグナルグランド) を接続します。



RCA ピンプラグ

※ ピンプラグからシールド線とSGを接続し、C (コールド) とSG (シグナルグランド) を接続します。

● 制御線（外部制御入力、動作中出力）は、より線、または単線で接続します。

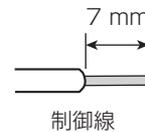
線径は、より線：0.1 mm² (AWG28) ~ 1.3 mm² (AWG16)

単線：φ0.3 mm ~ φ1.5 mm

のケーブルを使用してください。

※より線ははんだ仕上げ禁止。

ケーブルの先端7 mmの被覆をむきます。



制御線

■ 接続手順

1 各端子からヘッダーを取り外す

2 外したヘッダーのねじをゆるめて、ケーブル挿し込み口を閉じている金具を広げ、先端を加工した線を挿し込む
ケーブルの導体部が出ないように挿し込みます。

3 ゆるめたねじを締めて、線が抜けないことを確認する

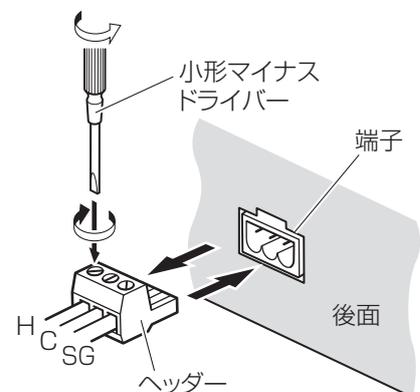
ねじの締め付けトルク

音声入出力線：0.5 N・m ~ 0.6 N・m {5 kgf・cm ~ 6 kgf・cm}

制御線：0.22 N・m ~ 0.25 N・m {2.2 kgf・cm ~ 2.5 kgf・cm}

ドライバーは刃先幅が3 mmのマイナスドライバーを使用します。

4 線を接続したヘッダーをそれぞれの端子に挿し込む



外部DC電源との接続

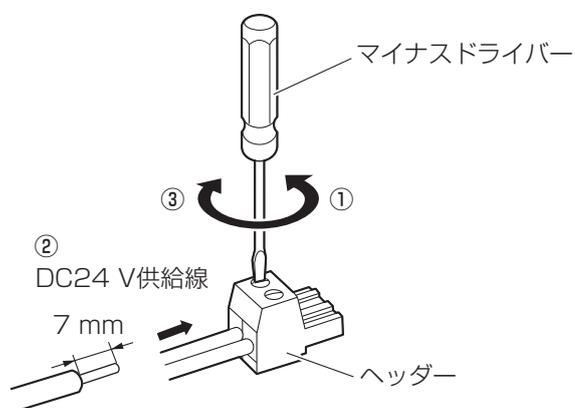
停電放送などを行うために本機にDC24 Vを供給して動作させることが可能です。

DC電源の電源容量は、1 A以上が必要になります。

本機をDC24 Vで使用する場合は、本機後面のDC24 V入力端子（ユーロブロックコネクタ）にDC24 V供給線を接続します。必ずユーロブロックコネクタにDC24 V供給線を接続したあと、本機に接続してください。

■ 接続手順

- 1 DC24 V入力端子からヘッダーを取り外す
- 2 外したヘッダーのねじをゆるめて、ケーブル挿し込み口を閉じている金具を広げ、先端を加工した線を挿し込む
ケーブルの導体部が出ないように挿し込みます。
- 3 ゆるめたねじを締めて、線が抜けないことを確認する

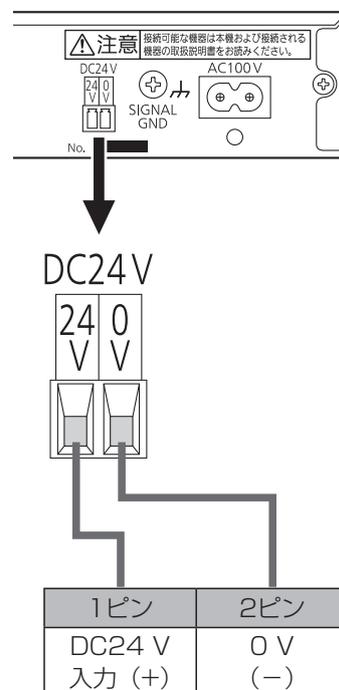


対応線材 より線 : 0.1 mm² (AWG28) ~ 1.3 mm² (AWG16)
 単線 : φ0.3 mm ~ φ1.5 mm

※より線ははんだ仕上げ禁止。
ケーブルの先端7 mmの被覆をむきます。

締め付けトルク : 0.22 N・m ~ 0.25 N・m
 {2.2 kgf・cm ~ 2.5 kgf・cm}

ドライバーは刃先幅が3 mmのマイナスドライバーを使用します。



4 線を接続したヘッダーを端子に挿し込む

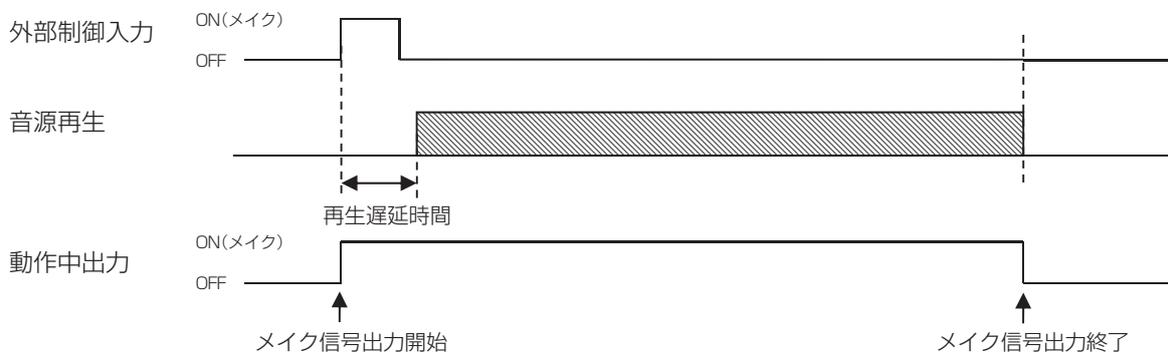


- 極性 (+, -) を正しく接続してください。逆に接続するとシステム全体に悪影響があるので、十分に注意してください。
- DC24 V以外は接続しないでください。

接続について

動作中出力の接続

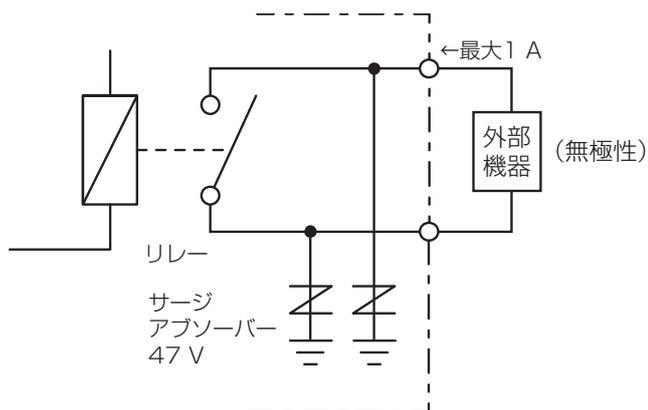
本機の外部制御入力がONされたときに、端子からメイク信号を出力することができます。この信号により放送設備などの起動を行うことができます。



● 動作中出力の内部回路は以下のようになっています。

- 出力形式：リレー接点（メイク出力）
- 電気的仕様：制御電圧DC30 V 制御電流1 A

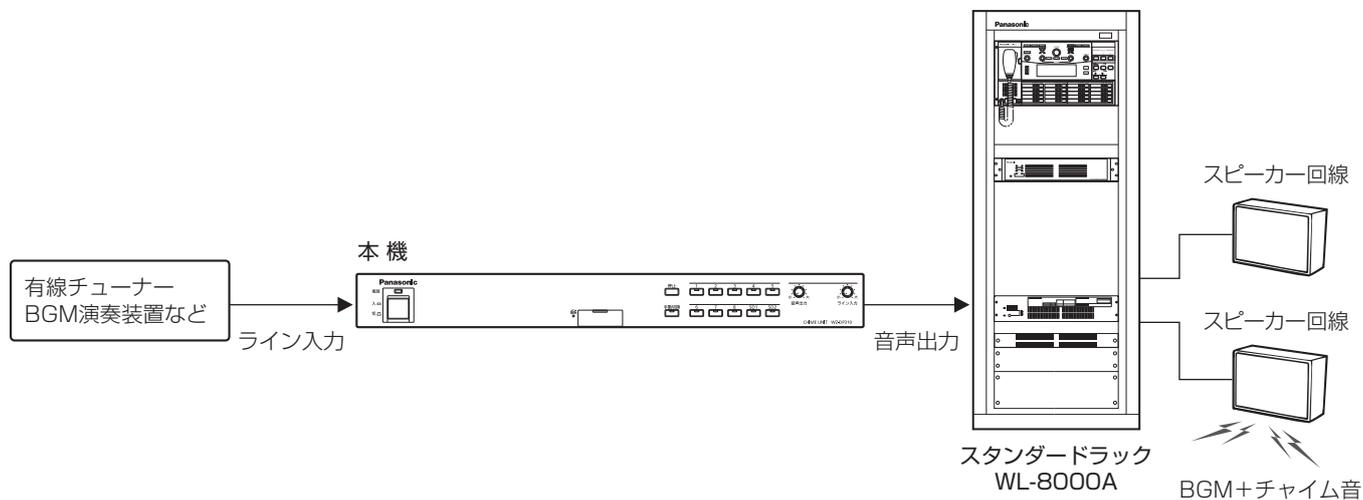
回路構成



ライン入力について

本機のライン入力を使用して、通常は有線チューナーなどによるBGM放送を行い、本機再生時は、ライン入力に入力された音声信号とミキシングして本機の音声出力に出力することができます。

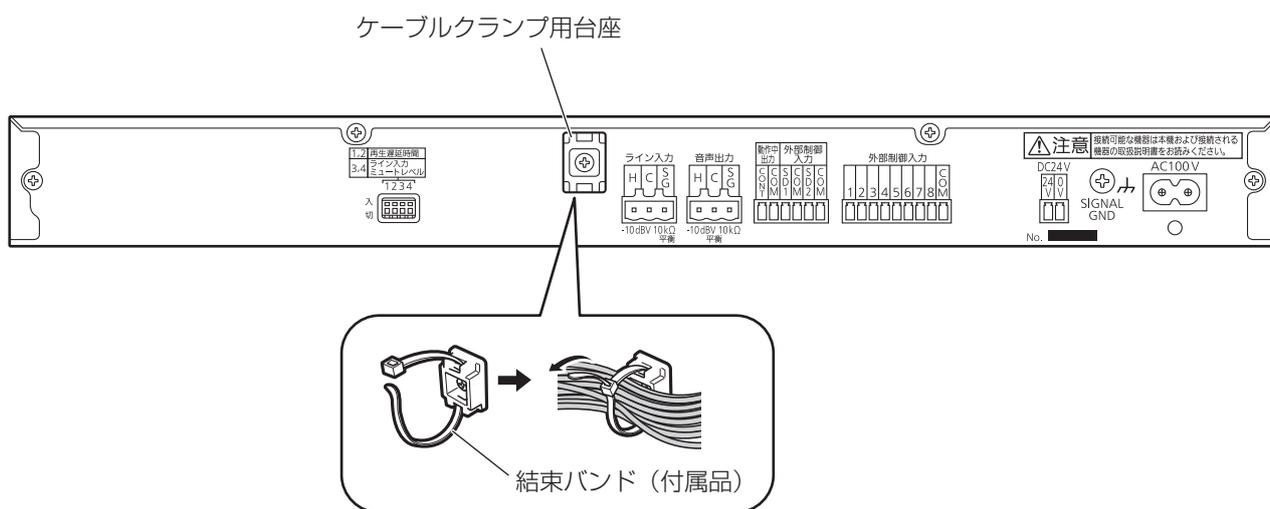
また、ミキシング時にライン入力の音量を減衰させることもできます。(16ページ「ライン入力ミュートレベル設定」)



- 外部音源機器の音量は、前面パネルのライン入力つまみにより、調節することができます。

接続ケーブルの束線のしかた

結束バンド（付属品）を使用して、接続したケーブルをケーブルクランプ用台座に固定します。

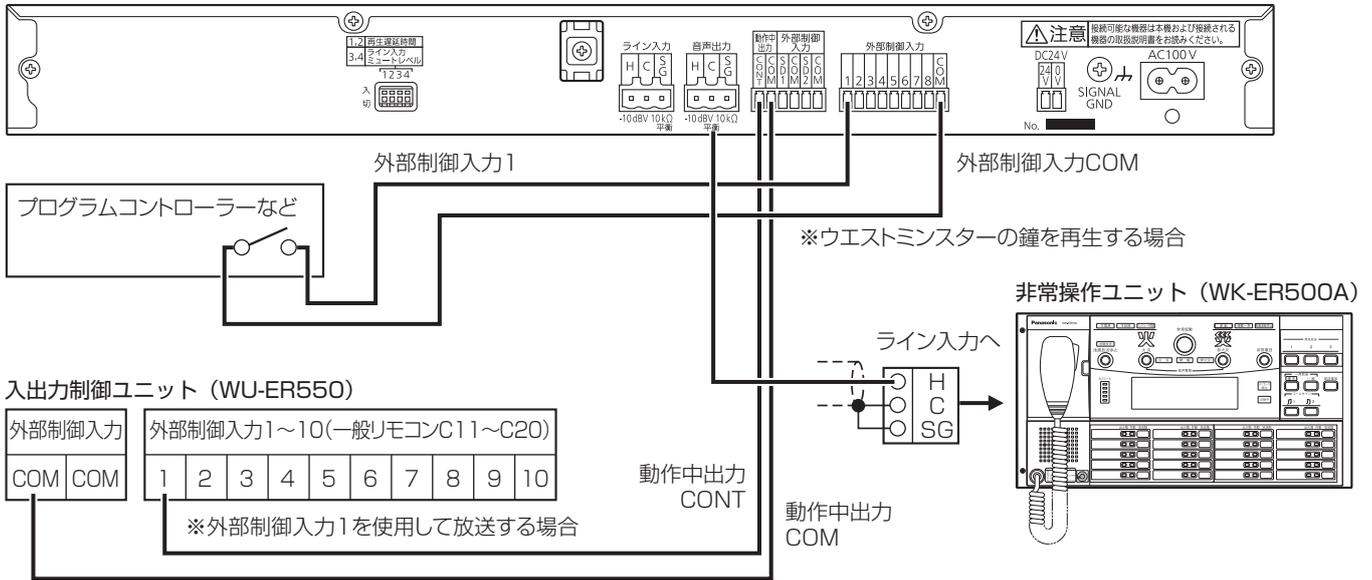


システム接続例

本機の動作出力を使用する場合

ラック形非常用放送設備（WL-8500Aシリーズ）に接続し、本機の動作中出力信号により放送起動を行う場合の接続例を示します。

本機

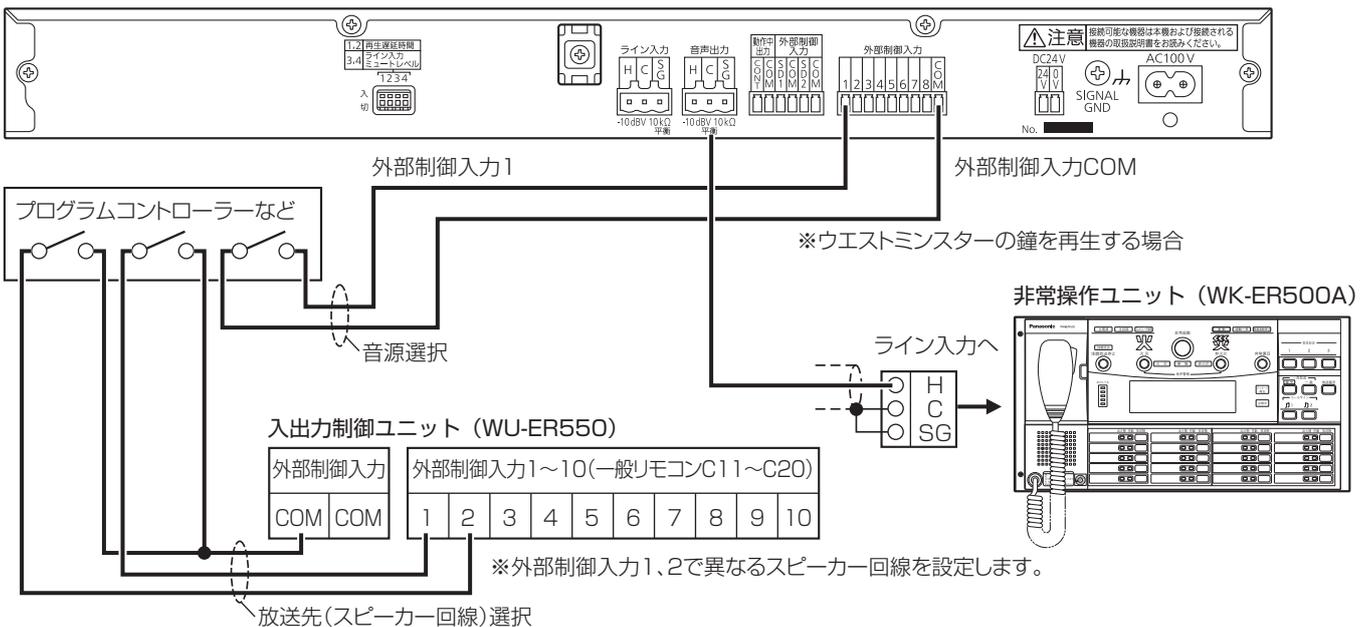


- 本機の動作中出力信号により放送起動を行う場合は、放送先は固定になります。

プログラムコントローラーなどにより放送先を変更する場合

時刻とともに放送先を変更する場合は、本機の動作中出力信号は使用せず、プログラムコントローラーなどの制御出力信号を本機の外部制御入力に接続することにより再生する音源の選択、ラック形非常用放送設備の外部制御入力に接続することにより放送先を選択します。

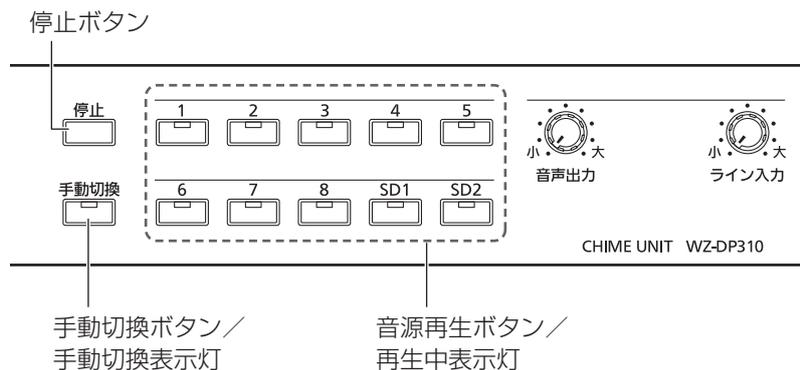
本機



- ラック形非常用放送設備のそれぞれの外部制御入力に異なる放送先（スピーカー回線）を設定します。

操作のしかた

手動操作による再生



1 手動切換ボタンの表示灯が点灯していることを確認する



- 手動切換ボタンの表示灯が消灯している場合は、外部起動が選択されているため、手動操作による再生は行えません。手動切換ボタンを押して、表示灯を点灯させてください。
- 手動切換ボタンを押すたびに再生起動の切り換えが、手動→外部制御→手動・・・と切り換わります。

2 再生する番号の音源再生ボタンを押す

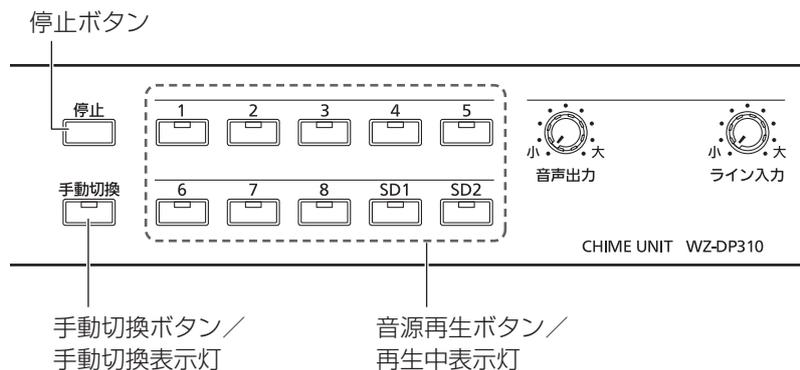
再生を開始します。

再生を開始すると、該当する音源再生ボタンの表示灯が緑点灯し、1回再生が終了した時点で、表示灯は消灯します。



- 再生遅延時間設定を行っている場合は、すぐに再生は開始されません。
- 手動操作による繰り返し再生は行えません。
- 再生中に音源再生ボタンを押すと、再生中の音声は停止し、押した音源再生ボタンの音声の再生を開始します。
- 再生中に手動で停止させたい場合は、停止ボタンを押すと再生が停止し、表示灯が消灯します。
- SDカードに音源ファイルが格納されていない場合は、「SD1」、「SD2」ボタンを押しても表示灯は消灯のままとなり、音源ファイルのファイル形式に誤りがある場合は、赤点滅になります。

外部起動による再生



1 手動切換ボタンの表示灯が消灯していることを確認する



- 手動切換ボタンの表示灯が点灯している場合は、外部制御による再生は行えません。手動切換ボタンを押して、表示灯を消灯させてください。
- 手動切換ボタンを押すたびに再生起動の切り換えが、手動→外部制御→手動…と切り換わります。

2 再生する番号の外部制御入力端子に起動信号（メイク信号）を入力する

再生を開始します。

再生を開始すると、該当する音源再生ボタンの表示灯が緑点灯します。

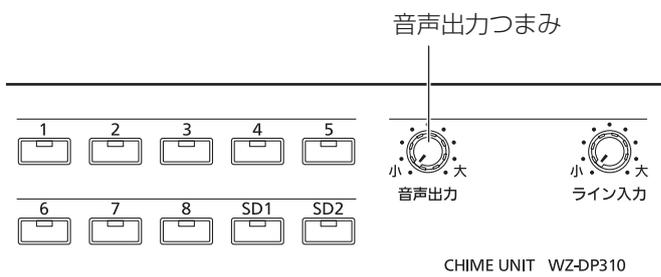


- 再生開始遅延時間設定を行っている場合は、すぐに再生は開始されません。
- 再生開始遅延時間の設定により、再生モードが異なり、アナウンスモードでは、1回再生、BGMモードでは、外部制御入力端子に起動信号が入力されている間、繰り返し再生します。（15ページ「再生モード」）
- 再生中に「外部制御入力」が行われると、再生中の音声は停止し、外部制御入力に対応した音源の再生を開始します。
- 再生中に手動で停止させたい場合は、停止ボタンを押すと再生が停止し、表示灯が消灯します。
- SDカードに音源ファイルが格納されていない場合は、「SD1」、「SD2」ボタンを押しても表示灯は消灯のままとなり、音源ファイルのファイル形式に誤りがある場合は、赤点滅になります。

音量調節

■ 音声出力音量調節

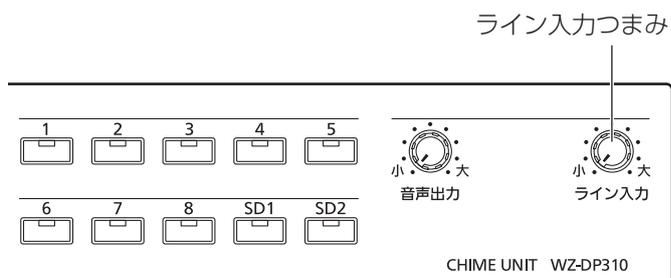
音声出力つまみで調節します。
本調節で放送の音量を調節します。
右に回すと音量が上がり、左に回すと音量が下がります。
左に回しきると音声は出力されません。



- 音声出力の調節は、ライン入力の音声も含まれます。ライン入力の音声のみを調節したい場合は、ライン入力つまみで調節します。

■ ライン入力音量調節

ライン入力つまみで調節します。
右に回すと音量が上がり、左に回すと音量が下がります。
左に回しきると音声は出力されません。



- 本調節は、ライン入力に外部機器（有線チューナー、CDプレーヤーなど）を接続しているときに必要です。
- ライン入力の音声は、本機が音源再生を行うとディップスイッチのミュートレベル設定に応じて音量が小さくなる場合があります。（16ページ「ライン入力ミュートレベル設定」）

SDカードの音源データ

SDカード再生について

内蔵の音源データとは別にSDカードにある音源ファイルを2曲（SD1、SD2）再生することができます。SDカードに収録された音声も内蔵メモリの音声と同様に手動再生、外部起動による再生が可能です。また、その他の機能についても内蔵メモリの音源再生と同じです。

SDカードの初期化

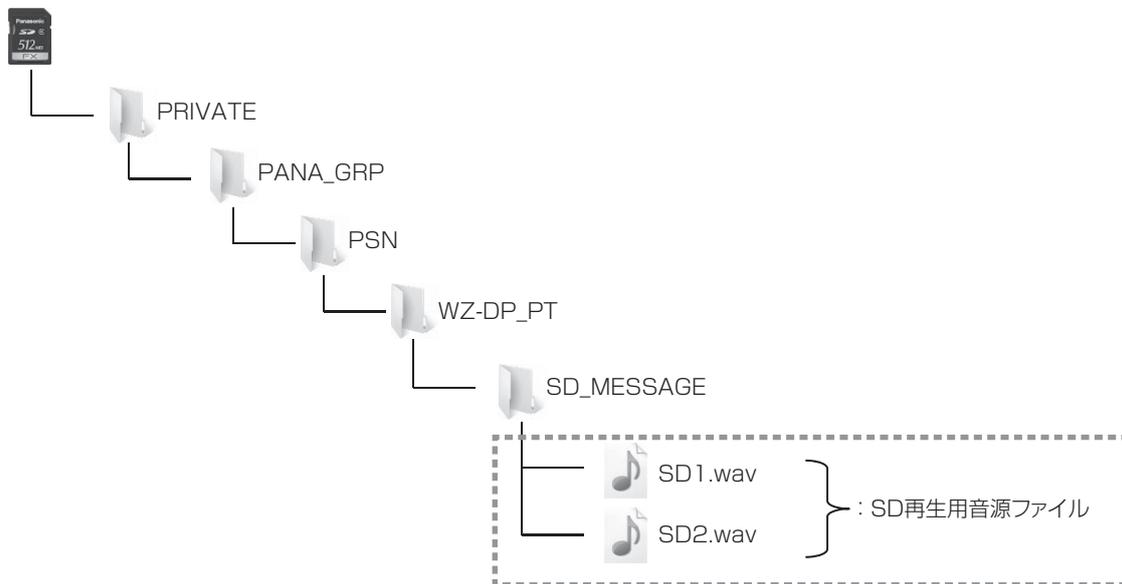
本機には、SDカードのフォーマット機能がありません。未フォーマットのSDカードを使用する場合は、SDフォーマッターをご使用ください。SDフォーマッターの入手は、SDアソシエーションのホームページまたは、販売店にお問い合わせください。

音源データのファイル形式

再生できる音源ファイルは以下の形式のファイルです。

データ形式	リニアPCM
サンプリング周波数	44.1 kHz
量子化ビット数	16 bit
チャンネル	モノラル/ステレオ
ビットレート	モノラル：705.6 kbps ステレオ：1411.2 kbps
ファイル名	SD1.wav：SD1用音源ファイル SD2.wav：SD2用音源ファイル

フォーマット済みSDカードに以下のフォルダー階層を作成し、「SD_MESSAGE」フォルダーにSDカードで使用する音源ファイルを格納してください。



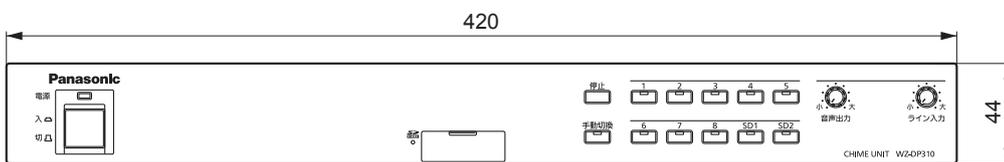
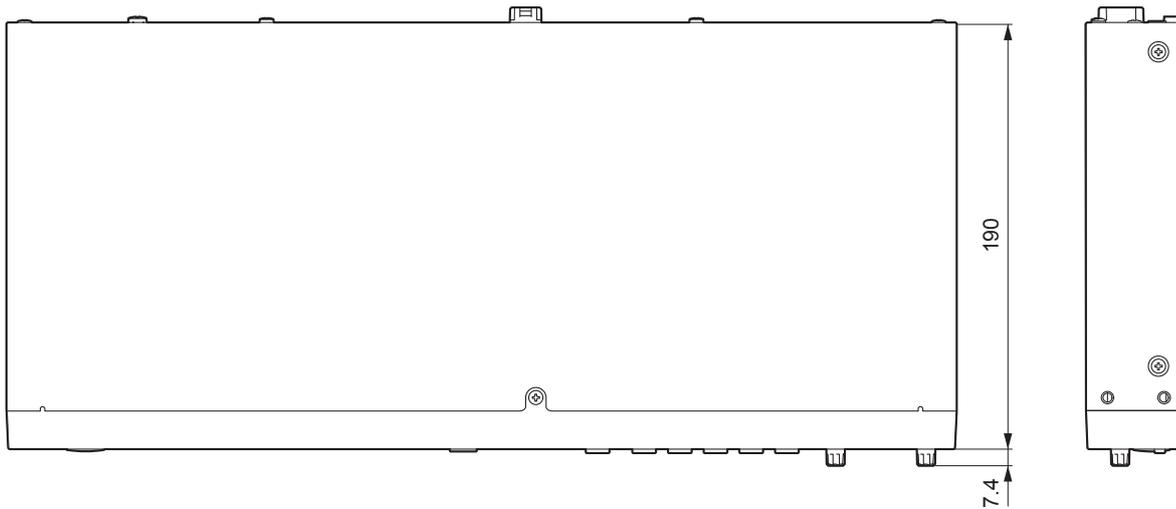
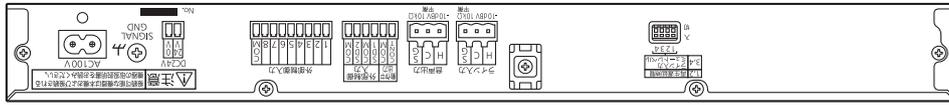
- 音源データのファイル名は、「SD1.wav」または「SD2.wav」にしてください。



- フォーマット済みのSDカードを本機のSDカードスロットに挿入すると、自動でフォルダー階層が作成されます。
- 本機の内蔵音源は最大（ピーク）-17 dBFSで収録されています。SDカードの音源データを内蔵音源の音量レベルに合わせる場合は、音源データの音量を最大（ピーク）-17 dBFSで作成してください。
- SDカードのステレオ音源データを再生した場合は、Lチャンネル、Rチャンネルをミキシングして再生します。

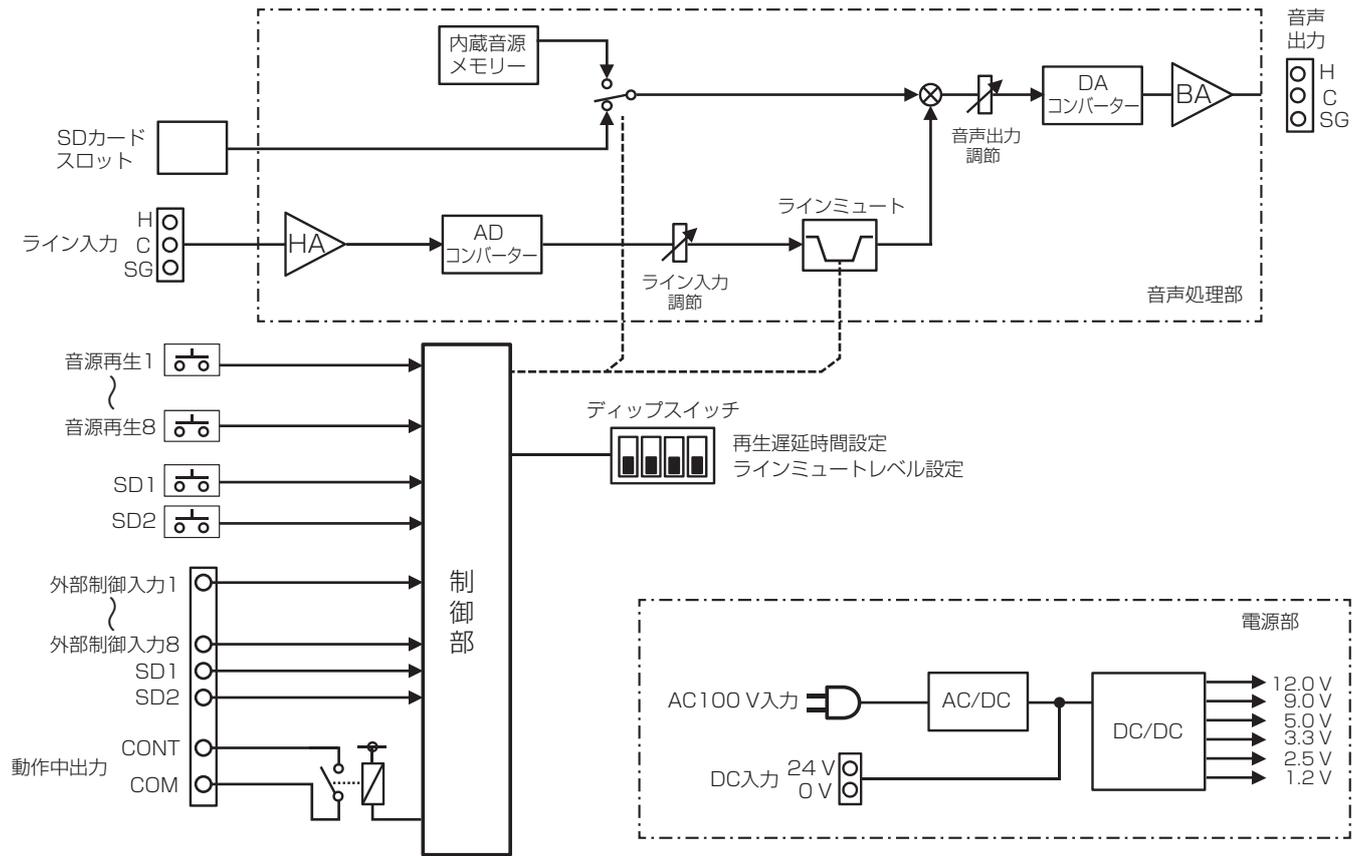
外形寸法図

(単位：mm)



その他

ブロックダイアグラム



その他

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で現象を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

現象	原因・対策	参照ページ	
電源が入らない	● 電源コードが抜けていませんか？ → コードを正しく接続してください。 コードの抜け防止に、電源コードクランプを使用することをおすすめします。	13	
	● DC24 Vのユーロブロックコネクタが抜けていませんか？ (外部DC電源接続時) → ユーロブロックコネクタを正しく接続してください。	19	
	● DC24 Vのユーロブロックコネクタの配線が間違っていますか？ (外部DC電源接続時) → ユーロブロックコネクタに正しく配線してください。	19	
音が出ない	音源出力つまみを左に回しきっていませんか？ → 音源出力つまみを正しく設定してください。	9、25	
		● 音源出力の配線が外れていませんか？ → 音源出力端子に音声線を接続してください。	10、18
	ライン入力の音が出ない	● ライン入力つまみを左に回しきっていませんか？ → ライン入力つまみを正しく設定してください。	9、25
		● ディップスイッチのミュートレベル設定が、「ライン入力ミュート」設定になっていませんか？ → ミュートレベルを適切な設定にしてください。	14、16
		● ライン入力の配線が外れていませんか？ → ライン入力端子に音声線を接続してください。	10、18
再生しない	音源再生ボタンを押しても再生ができない	● 手動切換ボタンの表示灯が消灯していませんか？ → 手動切換ボタンを押して、手動操作優先にしてください。 手動操作優先時は、手動切換ボタンの表示灯が点灯します。 電源投入直後は、外部制御入力優先になっています。	9、23
	外部制御入力による再生ができない	● 外部制御入力の配線が外れていませんか？ → 外部制御入力端子に制御線を接続してください。	10、18
		● 手動切換ボタンの表示灯が点灯していませんか？ → 手動切換ボタンを押して、外部制御入力優先にしてください。	9、24
	SD再生しない	● SDカードが入っていますか？ → SDカードを入れてください。 SDカードはパナソニック製業務用SDカードのご使用をおすすめします。	8、9、26
	SD再生中表示灯が点灯しない	● 所定のフォルダにWAVファイルがありますか？ → 所定のフォルダにWAVファイルを置いてください。	26
	SD再生中表示灯が赤点滅する	● WAVファイルが本機が対応するフォーマットになっていますか？ → 本機に対応したフォーマットが確認してください。	26
外部制御入力からの再生が途中で終了する	● BGMモードの設定になっていませんか？ → BGMモードの場合、外部制御入力メイクしている間繰り返し再生します。ディップスイッチを正しく設定してください。	14、15	
放送開始時に曲の頭が切れる	● アンプの起動が遅れるために曲が頭切れる可能性があります。 → ディップスイッチの再生遅延時間を設定してください。	14、16	

仕様

●基本仕様

電源	AC100 V (50 Hz/60 Hz) または、DC24 V
消費電力*1	3 W
使用温度範囲	0 °C~+45 °C
重量	2.1 kg
寸法	幅420 mm 高さ44 mm 奥行き190 mm
仕上げ	パネル : AVライトグレー色ABS樹脂 (マンセルN8近似色) 上カバー : AVライトグレー色塗装 (マンセルN8近似色) 日塗工 CN-80近似色

*1 この表示は、電気用品安全法の技術基準に基づくものです。

●制御入出力

外部制御入力	8回路 開放電圧5 V 短絡電流2 mA (ユーロブロックコネクタ)
動作中出力	1回路 無電圧マイクリレー接点DC30 V 最大制御電流1 A (ユーロブロックコネクタ)

●音声部

内蔵音源	8曲 (ウエストミンスターの鐘、コールサイン上り4音/下り4音他)
記録メディア	2曲 (SD/SDHCメモリーカード: 別売品)
推奨SD/SDHCメモリーカード	パナソニック製業務用SDカード SDHCカード : 4 GB、8 GB、16 GB、32 GB SDカード : 2 GB (miniSDカード、microSDカードは除く)
音声ファイルフォーマット	WAV 44.1 kHz サンプリング16 bit ステレオ/モノラル ● 音声出力は、モノラル出力のみ
周波数特性	ライン 20 Hz~20 kHz
ライン入力	入力レベル -10 dB 入力レベル調節可能 (前面) 入力インピーダンス 10 kΩ 平衡 コネクタ ユーロブロックコネクタ ● 内蔵音源、SD音源とのミキシングが可能
音声出力	出力レベル -10 dB 出力インピーダンス 2.2 kΩ 平衡 適合インピーダンス 10 kΩ 平衡 コネクタ ユーロブロックコネクタ

内蔵音源一覧

No.	名称
1	ウエストミンスターの鐘
2	コールサイン上り4音
3	コールサイン下り4音
4	ブザー音
5	サイン音1
6	サイン音2
7	環境音楽
8	蛍の光

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	() -
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障かな!?!」(29ページ)でご確認のあと、直らないときは、まず電源を切って、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名	チャイムユニット
●品番	WZ-DP310
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。

下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。

詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？

- 煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がする。
- 電源コード・電源プラグ・ACアダプターが異常に熱い。または割れやキズがある。
- 製品に触るとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても、音が出てこない。
- その他の異常・故障がある。

直ちに使用を中止してください

故障や事故防止のため、**電源を切り**、必ず販売店または施工業者に**点検**や**撤去**を依頼してください。

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** バナハ ヨイフ 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは https://biz.panasonic.com/jp-ja/support_cs-contact

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック コネクト株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック コネクト株式会社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号